

さらなる地域の発展をめざして!

フレッシュ
いずみ
Vol.39

発行/印刷/編集
〒245-0202 千葉県市川市
045-681-0260



公明党の新たなスタートにあたり私から市議員と市民の親しい親手をするげんなみ正保市長

私も初当選以来、用8年、全力で定めてまいりましたが、初心を忘れることなく、地域の安心と発展のために力を注いでいく決意です。

更に、公明党横浜市議員団は、人口減少時代の大都市の行政と社会のあり方を「サマソン」として「横浜ビジョン」を策定しました。

公明党は、昨年初全県大会を開催し、太田昭宏新代表を選出新たに「闘う人間主義」「生活現場第一主義」を掲げ、「人が輝く社会」の実現をめざし、「教育改革」「少子高齢化」「新しい経済成長」地域再生「格差抑制」の五つの重点政策を決定しました。特に、少子高齢化については、これまでにも子ども優先の社会で、全ての人がやさしい社会との考え方に立ち、「少子社会トータルプラン」を提言してまいりました。

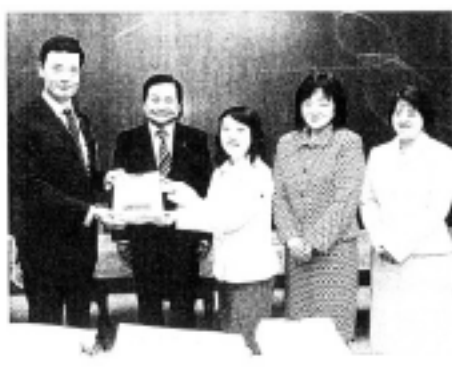


「横浜市議員
げんなみ正保」



平成18年12月26日、公明党泉支部女性部は、げんをみ正保市長と共に出陣を誓う。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。

平成18年12月26日、公明党泉支部女性部は、げんをみ正保市長と共に出陣を誓う。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。



平成18年12月26日、公明党泉支部女性部は、げんをみ正保市長と共に出陣を誓う。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。市長は、「いじめ根絶」と「小児医療費助成制度の拡充」を訴える。

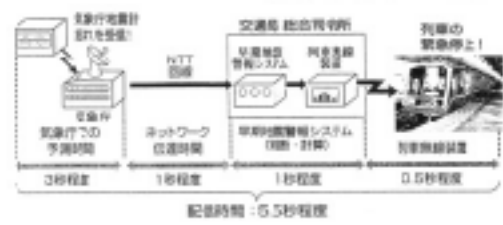
☆お気軽にご相談下さい☆
市民相談 横浜市長 げんなみ正保
●道路安全管理委員会委員長 ●基地対策特別委員会委員

市会の電話 045-671-3023 FAX 045-681-2060
ホームページ http://www.gennami.net/
Eメール gennami@yskohama.email.ne.jp

公明党の主張が実現の、早期地震警報システムの運用開始



横浜市地下鉄では、気象庁が先行的に提供している緊急地震速報を利用した早期地震警報システムの運用を開始しました。このシステムは、一定規模以上の地震が発生した場合、気象庁が配信する地震情報を専用回線を受信し、地下鉄沿線への被害の有害最大予測値を、主要駅到達予測時間を軸に判断、計算して、被害が出る予測されから列車を停止させるものです。このシステムの導入により、大きな地震が発生してもより安全・安心な地下鉄の運行が期待できます。



早期地震警報システム

私がやります。"チャレンジ50"

- 【教育】** 未来が輝く街づくりのために人間のための教育を
 - ①一人一人の可能性を開く教育を目指す
 - ・「スクールカウンセラー制度中学校」「学校カウンセラーが学校」の充実整備
 - ・教育の促進(スクールランチ)方式の中学校給食制度導入等
 - ・環境教育の拡充(地球温暖化対策など)
 - ・外国籍子弟の教育環境整備
 - ②教育現場の自律からの改革
 - ・「いじめ」の根絶徹底推進
 - ・子供の安全を地域で守る「学援隊」の区内全小学校展開
 - ・児童職員のための資質向上制度の整備充実
 - ③生涯にわたる豊かな人生を送るために、文化芸術とスポーツ振興の推進
 - ・地域文化の振興支援(人材バンク制度の創設、地域ボランティア活動拠点整備など)
 - ・障害者・高齢者のための芸術 文化の共有
 - ・子供の体力向上のためのシステムづくり
- 【福祉】** 子どもと高齢者がいっしょに元気に街に
 - ①医療制度充実
 - ・小学校入学時までの医療費の無料化(所得制限の撤廃)
 - ・新設中核病院の設置 ・産科医療の環境整備
 - ・最先端医療施設の提供(ガン治療に最先端治療機の導入)
 - ・不妊治療の保険適用 ・女性専門外来の拡充
 - ②安心して子育てができる街づくり
 - ・認定こども園の整備
 - ・マイノリティからの乳児までいっしょに安心「子育て相談制度」の整備
 - ・保育所待機児童「0」を目指す(11月4日現在の区内待機児童数0名)
 - ③高齢者が安心して生活できる街づくり
 - ・災害時要援護者支援対策の更なる構築
 - ・高齢者の移動手段の整備(コミュニティバス、乗合タクシーなど)
 - ・介護予防の推進に「地域力」
 - ・子ども連れの高齢者が交流できる複合施設整備
- 【環境】** 人間が中心の街づくりのために
 - ①緑豊かな街づくり推進150周年に向けて
 - ・緑化ボランティア活動の推進
 - ②自分らしく暮らせるユニバーサル社会の実現
 - ・バリアフリー社会からのユニバーサル社会へ移行
 - ③花開く緑豊かな地域の土地利用のルール化
- 【経済等】** 地域経済の活性化と、笑顔こぼれる街に
 - ①商店街から始める街にゆだねる街づくり
 - ・空き店舗を利用した「コミュニティビジネス」の創設支援
 - ・明るい商売街づくりのための「企業事業のサポート体制」充実
 - ・商店街活性化のための「元気づくりの集約事業」
 - ②民間に便利な行政サービスの推進
 - ・新設地を利用した区立産出促進施設の整備、コンビニを利用した行政サービスの推進

